

事務事業名		花き振興事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業	
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目	
	施策名	022 地域特性を生かした農林業の振興		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款
	基本事業名	022 農業経営の安定支援		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成22 年度～)		01	06
根拠法令				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		01	03
所属	部課名	農林水産部 農林課		※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分	
	課長名	菅原 博幸				A 政策事業 B 施設整備	
	係名	農政係	電話 27-3111			C 施設管理 D 補助金等	
	担当者	松川直史	内線 7122			E 一般(A～D以外)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
<p>・市内の花き生産者等の連携のもとに、大船渡市産花きを広く内外にPRし販売促進に努め、大船渡市の花き産業の振興を図ることを目的に、平成21年度から新たなイベントとして「花っこinおおふなと」を開催。</p> <p>・平成21年度は、花き生産者等と連携を図りながら企画し、市が主催となり初開催。</p> <p>・平成22年度に花っこinおおふなと実行委員会を設立し、市は、実行委員会の構成団体としてイベントの企画・運営に参画するとともに、事務局として実行委員会の事務・会計処理を行う。</p>				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
					財源内訳	都道府県支出金	
					人件費	地方債	
						その他	
						一般財源	
						事業費計(A)	0
					正規職員従事人数		
					延べ業務時間		
					人件費計(B)	0	
					トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
平成30年6月2～3日に「花っこinおおふなと」を実施した。		ア	イベント開催日数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
花っこinおおふなとの開催		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
花っこinおおふなと実行委員会		名称	
		単位	
		カ	実行委員会構成団体数(22年度設立)
		キ	市内花き生産者数
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
円滑な運営をさせる。		名称	
		単位	
		サ	打合せ会(実行委員会)開催回数
		シ	イベント来場者数
		ス	イベントにおける花壇苗販売額
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
安定して農業を営む。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	0	0	0	0	0
	事業費計(A)		千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	800	800	800	800	800
		トータルコスト(A)+(B)		千円	800	800	800	800
⑤ 活動指標		ア	日	2	2	2	2	2
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	団体	4	4	4	4	4
		キ	戸	10	10	10	11	10
		ク						
⑦ 成果指標		サ	回	2	2	2	2	2
		シ	人	1700	1700	1258	1673	1800
		ス	千円	348	336	329	300	375

事務事業ID	1341	事務事業名	花き振興事業
--------	------	-------	--------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 大船渡市が平成19年度に、花の愛好家の遺族から、大船渡市の花き振興に役立ててほしいと寄付を受けたことに伴い、市では、この寄付金を有効に活用するために関係機関等と連携しながら協議を重ね、新たなイベントを企画・開催することとした。このイベントを契機として、大船渡市産花きへの理解を深め、大船渡市産花きを家庭や地域などでもっと積極的に活用してもらい、大船渡市の花き振興及び農業全般の活性化を図るために、この事業を開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 ・花き生産者等の連携が図られた。  
 ・平成21年度は市が主催となり実施したが、イベント内容からして、花き生産者が中心となる関係機関・団体等が主体で実施した方が望ましいのではないかという意見があったことから、平成22年度以降は実行委員会形式で実施することとした。  
 ・当イベントの原資となっている寄附金は平成25年度をもって使い切り、翌年度から各店舗より出店料を徴収し、開催した。  
 ・平成28年度からは、イベントの売り上げのうち10%を翌年度以降のイベント開催費用に充てることとした。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 ・市内で同種の継続的なイベントがないため、来場者から今後も継続してほしいという要望が寄せられている。  
 ・会場を世界の椿館・基石ではなく、中心市街地等でアクセスの良いところで開催することで、花き振興に繋がるという意見が寄せられている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	「花っこinおふなと」を通じて、大船渡市産花きへの理解と関心を高めるとともに、より多くの市民等に対して大船渡市産花きの利用促進に努めることで、将来的に花き生産の振興につながり、市の農業振興が図られることから、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	市は、実行委員会の一員として、また、農業振興を率先して推進する立場から、本市農業の基幹作物であり、多くの市民等から親しまれている花きの振興を図るために、本事業へ積極的に関与する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	直接的な対象は、本事業を遂行するために設立される実行委員会であり、また、より多くの市民等に対して大船渡市産花きの販売促進とPRに努め、本市の花き振興を図ることを目的とするものであることから適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	事業を継続的にを行い、市民等への更なる浸透を図る。また、これまでは世界の椿館・基石を会場に、イベント実施をしてきたが、より多くの人たちの目に触れる機会を増やすため、中心市街地で実施することを検討し、成果の向上に期待するとともに、中心市街地等への誘客に繋げる取り組みを展開する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	当市農業の基幹作物である花き振興の推進を阻害する恐れがある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	事業費は、花き事業者の売上金の一部であり、市の事業費負担は無い。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	平成22年度から実行委員会形式とし、市が当該の事務処理等を担わなければイベントの運営が困難であるが、将来的には、花き生産者等が主体で企画・運営を行えるよう業務の移行を図っているところである。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	花き振興を図ることを目的としている事業であること、また、受益者負担を伴わない事業であることから、公平・公正である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	花き振興のため、今後、新たな形でのイベント展開を検討する。	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																	
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状どおり継続して事業を実施する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持	●			低下		×	×
		コスト																	
		削減	維持	増加															
成果	向上維持	●																	
	低下		×	×															

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 現状維持で継続する。
---	-----------------------------------